

鹿児島県農業信用基金協会

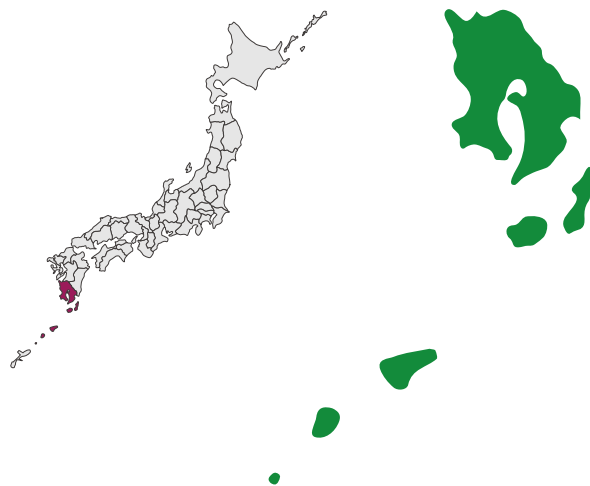
1 鹿児島県の紹介

鹿児島県は、日本の西南部、九州の南端に位置し、東西約 270km、南北約 600km に広がり、総面積は 9,187km²です。

薩摩、大隅の二つの半島からなる県本土と、甌島、種子島、屋久島、トカラ列島、奄美群島等 200 有余の島々からなっているため、気候は温帯気候帯から亜熱帯気候帯まで広範囲に及んでおり、年の平均気温は、15℃から 23℃、降水量は概ね年 2,000mm から 3,000mm の降雨地帯にあるものの、屋久島の山岳地帯のように、年 10,000mm を記録する地域があるなど、地域毎に独自の自然環境を有しています。

また、薩摩、大隅半島は相対して深く湾入した錦江湾を抱き、桜島等の霧島火山帯の活動等によって生じた火山群を骨格にしてシラス層の丘陵台地がひろがっています。(鹿児島県：「かごしまの農業 2023」より)

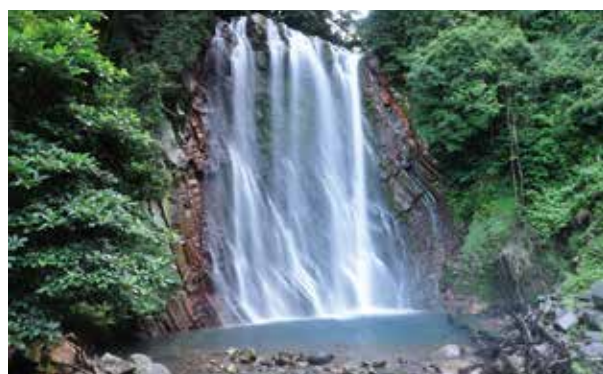
鹿児島県は、世界自然遺産である「屋久島」



「奄美大島・徳之島」、世界文化遺産である「明治日本の産業革命遺産」といった 3 つの世界遺産を有している他、「指宿温泉」や「霧島温泉郷」等、県内各地にある温泉や、「鶴の越冬地」、「知覧特攻平和会館」等、バラエティーに富んだ観光資源に恵まれていますので、是非遊びにおじゃんせ（お越しください）。



噴煙を上げる桜島と錦江湾



坂本龍馬も訪れた 4 つの温泉（林田・栄之尾・硫黄谷・明礬）が流れる丸尾滝（霧島市）

2 鹿児島県の農業

鹿児島県の農業は、県の地域経済を支える基幹産業であり、令和 4 年における農業産出額は 5,114 億円となっています。

特に全国上位の飼養頭数を誇る肉用牛（黒毛和種）や豚を中心とした畜産は、農業産出額の約 7 割を占めています。また、南北

600km にわたる県土の中で、温暖な気候や全国第 2 位の広大な畑地などを生かした野菜や花き、茶などの生産も盛んです。

令和 3 年の品目別生産状況は、肉用牛（黒毛和種）、豚、ブロイラー等畜産のほか、野菜（さつまいも・そらまめ・さやえんどう）、

球根類等が全国1位、茶（荒茶）、かぼちゃ等が2位、マンゴー等が3位となっています。（農林水産省：「鹿児島県の農林水産業



和牛日本一に輝いた「鹿児島黒牛」



「かごしま茶」は全国茶品評会で20年連続産地賞受賞

の概要」、鹿児島県：「かごしまの農業 2023」より）



全国的に人気が高い「種子島安納いも」



100年以上続く「えらぶゆり」栽培

3 鹿児島県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事10名（うち常勤1名）、監事2名の役員12名。職員は21名で、総務課、審査課、管理課の3課体制による業務運営を行っています。



4 鹿児島県農業信用基金協会の活動

当協会の保証残高は、平成21年度をピークに、民間保証会社との競争激化等により、平成30年度まで減少を続けていました。

しかしながら、商品性の改善、JAバンク鹿児島による保証料助成やJAバンク利子補給対象資金の活用推進、ネットローンの導入とキャンペーンの実施等、鹿児島県信連、JAと一体となった取り組みを行った結果、令和元年度より増加に転じています。

令和4年度には、10年ぶりに保証残高

1,000億円を計上し、令和5年度には、過去最高の保証残高となる見込みです。

農業を取り巻く状況は、年々厳しさを増していますが、職員の半数以上を占める40代以下の若手・中堅職員を中心に、明治維新の先達に倣い、知恵を出し合って、難局を乗り越えると共に、県・市町村等の関係機関・団体と更に連携し、より地域から信頼される組織作りに取り組み、農業者等の皆様の一助となれるよう努力してまいります。